

●平成 26 年（2014 年）の日本の地震活動

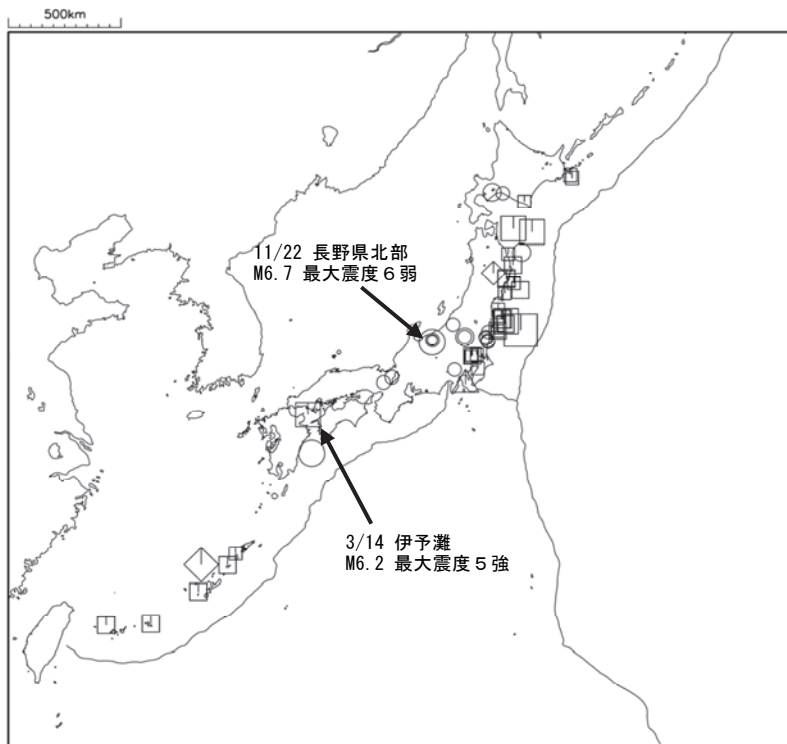


図 1 平成 26 年（2014 年）に最大震度 4 以上を
観測した地震の震央分布図
最大震度 5 強以上を観測した地震に矢印をつけた



図 2 平成 26 年（2014 年）に発生した
M6.0 以上の地震の震央分布図
M7.0 以上の地震に矢印をつけた

〔概況〕

2014 年に国内で被害を伴った地震は 7 回（2013 年は 10 回^{*1}）発生した。

死者・行方不明者を伴った地震はなかった（2013 年もなかった）。

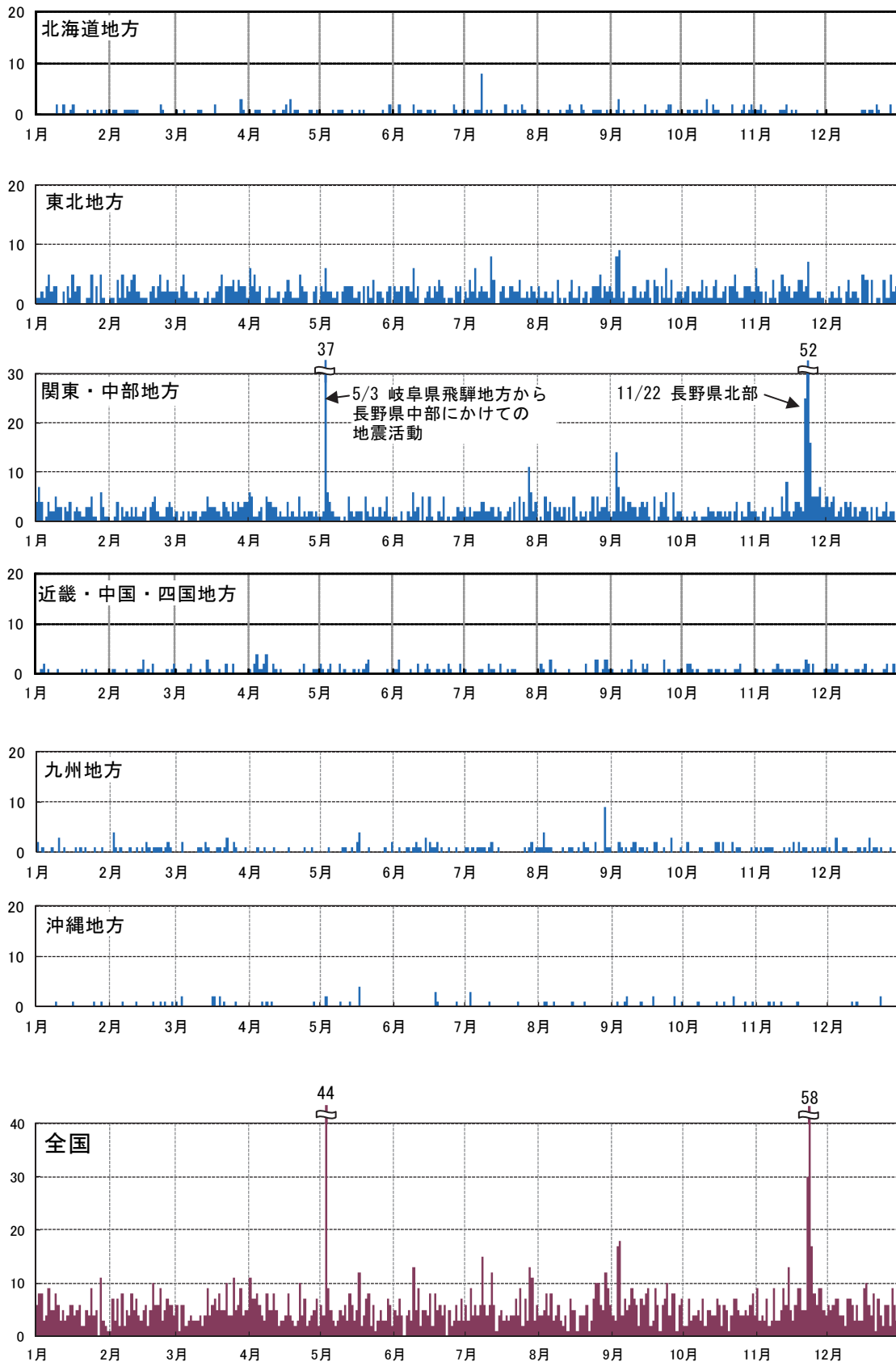
震度 1 以上を観測した地震は 2,052 回（2013 年は 2,387 回）、最大震度 4 以上を観測した地震は 55 回（2013 年は 64 回）、最大震度 5 弱以上を観測した地震は 9 回（2013 年は 12 回）であり、2014 年中に観測した最大の震度は、11 月 22 日に長野県北部で発生した地震（M6.7）で観測された震度 6 弱であった（図 1）。

M6.0 以上の地震は 15 回（2013 年は 20 回）発生した。過去 89 年間の発生回数の平均が 18.3 回、標準偏差が 13.0 であることから、ほぼ平均的な発生回数であったといえる（図 4）。2014 年中で最大の地震は、7 月 12 日に発生した福島県沖の地震（M7.0）であった（図 2）。

日本で津波を観測した地震（海外で発生した地震を含む）は 3 回（2013 年は 3 回）であった。過去 88 年間の平均が 2.5 回、標準偏差が 2.0 であることから、ほぼ平均的な発生回数であったといえる（図 4）。

また、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域での活動は、全体的には次第に低下してきているが、2014 年 12 月末現在、本震発生以前に比べて依然として活発な活動が継続している。

*1 2013 年 6 月 8 日 16 時 17 分および同日 20 時 39 分に発生した和歌山県北部の地震については、生じた被害がどちらの地震によるものか区別できないため、合わせて 1 回として扱った。



2014 年の 1 年間に
最大震度 4 以上を
観測した地震回数
（最大震度別）

最大震度	回数
4	46
5 弱	7
5 強	1
6 弱	1
6 強	0
7	0
合計	55

図 3 平成 26 年（2014 年）に震度 1 以上を観測した日別回数（全国及び各地方別）

6 つの地方（北海道地方、東北地方、関東・中部地方（三重県を含む）、近畿・中国・四国地方、九州地方及び沖縄地方）に分割した。

